

共に生きる

とは何か

— 難民の声、家族の歴史から考えた多様性 —

認定NPO法人
Dialogue for People 副代表
フォトジャーナリスト

安田 菜津紀さん

シリアでは長らく戦争が続き、パレスチナ・ガザ地区ではイスラエルによる侵攻で多くの人々が犠牲になってきました。こうして世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。日本国内に暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるをえなかった人々がいます。難民認定の壁に突き当たっています。また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残っています。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交え、身近なこととして考えていきます。

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人Dialogue for People(ダイアログフォーピープル/D4P)副代表、フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』(ハウレーカ)他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

2025
10/25 土

津南町
文化センター ホール
13:30~15:15(13:00開場)

- ◆13:30~ 活動、人権作文の発表
- ◆13:45~ 人権講演会(約80分)

要約筆記
あり

参加
無料

定員
約400名

※駐車場には限り
があります

事前にお申込みください。(詳細は裏面へ)
※空席がある場合は当日の参加も可能です。

申込締切／10月16日(木)

共催／津南町、中越地域人権啓発活動ネットワーク協議会(十日町人権擁護委員協議会、新潟地方法務局十日町支局)

参加申込書 FAX 025-765-4625(代表受付)

津南町人権啓発講演会

共に生きるとは何か ～難民の声、家族の歴史から考えた多様性～

令和7年10月25日(土) 13:30～15:15

ふりがな 氏 名			参加人数	名
電 話 番 号	※日中、連絡可能な番号をお書きください。	年 代	※年代に○をしてください。 10代・20代・30代・40代 50代・60代・70代・80代以上	

申込み方法

下記のいずれかで、津南町役場税務町民課町民班へお申込みください。 締切: 令和7年10月16日(木)

電 話 025-765-3113 (月～金/8:30～17:00 ※土日祝を除く平日)

F A X この用紙をお使いください。

E-Mail zeimuchomin@town.tsunan.niigata.jp

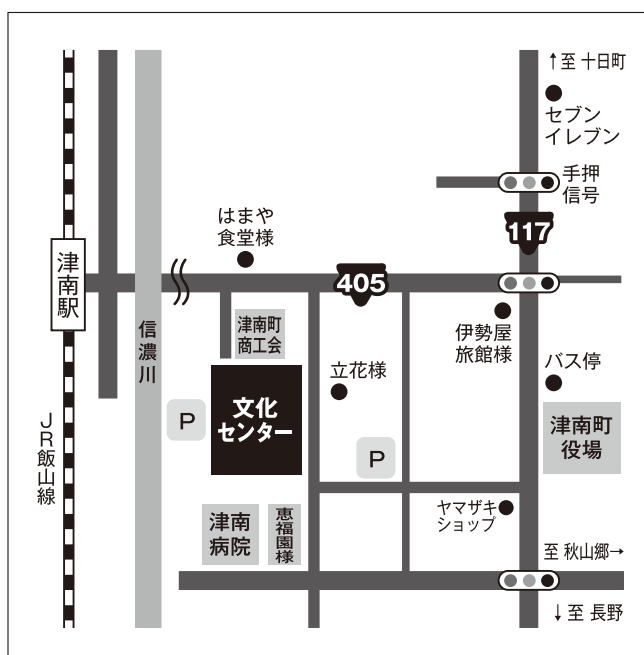


◀ 申し込みフォーム
QRコード

会場案内

津南町文化センター ホール

〒949-8201
新潟県中魚沼郡津南町下船渡丁2806-3
TEL.025-765-3134



※同日の10時～14時まで「津南町健康フェア」が津南町立津南病院で開催されます。
駐車場には限りがあります。